

第1回 大田市特別職報酬等審議会 議事録

開催日時	令和4年10月21日（金）14時から15時15分
開催場所	大田市役所 2階第1会議室
会議の出席	<p>◆委員 安藤彰浩委員/生越朱美委員/金崎えりな委員/川上隆委員 齊藤寛委員/豊田知世委員/森田由香委員/森脇岸江委員 ※欠席者2名（泉原美知栄委員/小川良知委員）</p> <p>◆大田市 楢野市長/大谷総務部長/藤原人事課長/大久保議会事務局次長 岩谷人事課課長補佐/荊尾人事課係長/北村議会事務局係長</p>
次第	<p>1. 開会</p> <p>2. 市長あいさつ（要旨） 急なお願いにもかかわらず、審議会の委員に快諾していただき感謝申し上げます。また、日頃は市政運営等に対しご協力を賜り感謝申し上げます。 現在、大田市は様々な課題を抱えている。一番はやはり人口減少である。私が市長に就任した頃には出生数が200人を切り、令和3年には170人まで減り、今年はまだ9月までの状況だが、昨年よりもさらに少なくなる見込みで非常に厳しい状況である。 その他にも庁舎の改築問題や教育施設等の老朽化など様々な行政課題を抱えている。公共施設の適正化など様々な行財政改革に取り組みながら、財源を確保し、未来の大田市を見据え取り組んでいきたい。ぜひ、これからも市政運営にご協力いただきたい。 本審議会は、平成18年1月に新市の特別職の報酬額について審議をいただいて以来、15年ぶりの開催である。本来であれば、改選のたびに審議会を開催し、審議いただくべきであったと思うが、開催のタイミングを逸してきた。 委員の皆さまには、現在の大田市の人口規模、財政状況、昨今の社会経済状況を含め、様々な観点から、どういう報酬であるべきかをご審議いただきたい。 審議の対象は、市長、副市長、教育長の3名と市議会議員の報酬が対象となる。特に大田市議会議員の報酬につきましては、無投票であったり、若い立候補者がいないという現状を踏まえてどうするべきかなど大きな課題でもある。委員の皆さまには、忌憚のないご意見をいただきたい。</p> <p>3. 辞令交付 ・楢野市長から辞令書交付（代表：安藤彰浩委員） ・事務局から委員の紹介 ・事務局より説明 ◆資料No.2-1 大田市特別職報酬等審議会条例 ◆資料No.2-2 大田市特別職報酬等審議会に関する条例施行規則</p>

4. 審議会の会長及び会長代理選出

- ・委員の互選により審議会会長を選出
審議会会長に齊藤委員を選出（委員異議なし）

<齊藤会長あいさつ>

ただいま指名を頂き、ご承認をいただきました商工会議所の齊藤でございます。皆さま方のご協力をいただきながら、そして、忌憚のないご意見を頂戴しながら進めさせていただきたい。ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。簡単ではありますが挨拶とさせていただきます。

- ・齊藤会長から安藤委員を会長代理に指名し承諾

5. 諮問

- ・楯野市長から齊藤会長に対し、諮問書を読み上げ手渡す。
※諮問後、楯野市長は他用務のため退席

6. 審議

【審議会の秘密会の可否】

原則公開することを決定。

（意見の内容については公開し、発言者は非公開とする。）

【本日の提出資料の説明】

- ❖資料No.3 大田市市長、副市長及び教育長の給与に関する条例
- ❖資料No.4 大田市議会議員の議員報酬及び費用弁償支給条例
- ❖資料No.5 [市長等給料 県内8市比較表]
- ❖資料No.6 [健全化判断比率]
以上、事務局より説明。

【審議内容】

【会長】 ただいま事務局から説明を賜りました。聞きなれない言葉もあったが、皆さま方ご質問ご意見等がありましたらお願いします。

【委員】 確認させてください。議員さんの費用弁償は、旅費がまた別途支払われているということですか。議長、議員さんの費用弁償、その予算などがもしあるようでしたら、教えていただきたい。

【事務局】 報酬以外のところと言えば費用弁償として、旅費がある。

【委員】 それは、いわゆる出勤のためなのか、視察に行くためなのか。

【事務局】 旅費については、公務で県外出張する場合や本会議などで市役所までの交通費を支給する場合の費用弁償がある。

【委員】 自ら行くのか、依頼があつていく場合なのか

【事務局】 議会活動としていく場合である。議員活動の場合は、政務活動費がある。

【委員】 政務活動費などのその予算とは別のところを今回は特に考えなくてもいいということか。

【事務局】 今回は報酬の方だけです。

	<p>〔委員〕 先ほどの質問に関連ですけど、国会議員や県議会議員は、月額 200 万とか 100 万とか非常に高額な政務活動費が支払われていると聞くと、市議会議員の方は、年なのか月なのかわからないがどのくらい支払われているのか。また、報酬の中には入っていないのか教えてほしい。</p> <p>〔事務局〕 政務活動費として年間 12 万円である。これは、報酬の中には入っていない。</p> <p>〔委員〕 説明の最後に言われた、基金を取り崩して、予算上の見目は非常に大田市は余裕あるということだったが、実際は違うということ。その関連資料の提供をお願いしたい。</p> <p>〔事務局〕 次回までのところで、市の基金の残高の数年の推移の資料を作成する。</p> <p>〔委員〕 一番直近の市でいうと、益田市が今年度に特別職報酬等審議会をしておられると思う。益田市の例は前回と比べて報酬が下がったのか上がったのか確認をしたい。</p> <p>〔事務局〕 現状維持です。前回の報酬額がそのまま、変わらないという答申を受けたということ。</p> <p>〔委員〕 それは、15 年 20 年前のものか、それとも直近のものなのか。</p> <p>〔事務局〕 直近の答申は、前回と変わらないという答申であった。</p> <p>〔委員〕 そこが 15 年前のものか直近のものかわかれば教えてほしい。</p> <p>〔事務局〕 益田市は、平成 22 年に改定し今日に至っている。平成 27 年にも審議会が行われているが、額については据え置き。今回の答申も据え置きということである。</p> <p>〔委員〕 わかりました。</p> <p>〔委員〕 議員のなり手がいないということで、問題視されているということだが、むしろ大田市内で例えば、議員の定数を減らして、1 人当たりの額をあげようみたいなそういう話はあったのか。</p> <p>〔事務局〕 議員定数は合併した当初、10 月から 3 月までは在任するというので 46 人の議員。当時の報酬は、大田市議会出身者が 34 万 5 千円。温泉津町出身の議員は 18 万円。仁摩町出身の議員は 20 万 2 千円でした。その後、18 年 4 月に定数が 24 名となり、議員報酬が現在の 31 万円に変更になりました。そののち、平成 26 年に議員定数が 20 名と減り、報酬額はそのまま引き続き 31 万円、この度の 4 月から定数が 18 名となりましたが報酬は引き続き 31 万です。</p> <p>〔会長〕 今回、そういったことも踏まえての議論となる。</p> <p>〔委員〕 会長、今日はどこまで議論するのか。</p> <p>〔会長〕 時間に限りもありますので、今日は説明のあったわからない点について確認をいただいて、必要な資料を求めていただいたりということで今日のところは良いですかね。</p> <p>〔委員〕 では、ありましたら、県外を含める類似団体があると</p>
--	--

	<p>【事務局】 と思いますが、市長、議員の報酬も調べていただきたい。類似団体ということで、これは産業構造、人口規模によって階層に分けられた類似団体というのが定められている。全てとなると128団体あります。県内というと安来市と雲南市、益田市です。鳥取県でいうと倉吉市。中国地方とすると、広島県が安芸高田市、江田島市、岡山県は、赤磐市、瀬戸内市、真庭市、高梁市。山口県は、長門市、萩市、美祢市となります。中国地方で調査させてもらう。</p> <p>【委員】 中国地方でお願いします。</p> <p>【委員】 もしわかりましたら、18年から市役所職員の給与の変動がどのくらいあったのかが知りたい。</p> <p>【事務局】 平均給与でよいか。</p> <p>【委員】 物価の上昇で、一般職員の方は増えていると思うが、どのように変化しているのか。特別職が変わらなかった期間に上がったのか下がったのか知りたい。</p> <p>【事務局】 一般職の推移で良いでしょうか。</p> <p>【委員】 はい。</p> <p>【会長】 ほかにはないでしょうか。では、ご要望のあった資料を事務局にはお願いさせていただき、本日の会議は以上としたいと思うが委員の皆様よいでしょうか。</p> <p>【委員】 資料は、次の会議までに届くのか。</p> <p>【事務局】 はい。事前に送ります。</p> <p>【委員】 では、宿題は何ですか？</p> <p>【会長】 金額を考えてくるのは、自分で考えて算出するというのは、非常に困難だと思う。しかし、できる方はしていただいても構わない。様々な意見があると思うので集約していきたいと思う。構えすぎずにいろんな意見を出していただきたい。事務局から資料の提出をいただいて具体的な数字が固まるように持っていきたい。初めての方もいらっしゃるのでは、緊張感もあったりして声が出しにくかったかもしれないがリラックスしながら様々な意見を出していただきたい。最終的には、多くの市民の皆さんが納得される形で結論を出すようにしたい。その根拠というものが必要になる。大田市の財政状況も考えていかないといけないが、物価は上がっている状況もある。具体的な数字を皆さんで検討していきたい。よろしくをお願いします。では、次回、第2回の審議会を決めて終わりたい。いつにしましょうか。</p> <p>【事務局】 皆さんの意見を伺って決めていきたいと思うが、事務局の想定をしている予定では、11月15日に第2回目ができればと考えております。第3回目がその2週間後の11月29日と考えておりますがいかがでしょうか。</p> <p>【会長】 よろしいでしょうか。</p> <p>【委員】 出席できないかもしれないが資料をもらえれば、事前に意見をださせてもらいます。</p> <p>【事務局】 本日の説明資料を持ち帰っていただいて不明な点が</p>
--	---

	<p>あれば遠慮なく連絡してほしい。</p> <p>せっかくの機会ですので、市役所の仕事のあり方や議員報酬、特別職の報酬のあり方を知っていただき機会と思っているので、忌憚のない意見をいただきたい。</p> <p>【事務局】 次回の時間は本日と同じ2時とさせていただきます。</p> <p>【会長】 それでは、日程は11月15日、29日の午後2時とさせていただきます。都合のつかない委員さんには大変申し訳ないが、意見等については、事前に事務局へ伝えてほしい。そのほか何かないでしょうか。</p> <p>【事務局】 最後に資料の確認をもう一度させていただきますと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基金の取り崩し状況について ・中国地方の類似団体の市長等の報酬額等について ・平成18年以降の市の一般職員の給与の変遷等について <p>【会長】 の資料について送るようにしたいと思います。</p> <p>事務局次長が先ほどの説明で、議員の報酬額の変遷がありました。前回の審議会で改正された時の内容を教えてもらいたい。その数字の根拠がわかるような資料をいただければありがたい。</p> <p>【事務局】 わかりました。</p> <p>【会長】 皆さん他にございませんでしょうか。</p> <p>ないようでしたら、以上で第1回の特別職報酬等審議会を終了いたします。ありがとうございました。</p> <p>以上、会議終了</p> <p>閉 会</p>
会議資料	<p>資料No.1 大田市特別職報酬等審議会委員名簿</p> <p>資料No.2-1 大田市特別職報酬等審議会条例</p> <p>資料No.2-2 大田市特別職報酬等審議会に関する条例施行規則</p> <p>資料No.3 大田市市長、副市長及び教育長の給与に関する条例</p> <p>資料No.4 大田市議会議員の議員報酬及び費用弁償支給条例</p> <p>資料No.5 市長等給料 県内8市比較表</p> <p>資料No.6 健全化判断比率</p>